

令和6年度 第2回銚子市子ども・子育て会議

開催日時	令和6年10月30日（水） 午後1時30分から午後2時50分まで
開催場所	勤労コミュニティセンター 2階ホール
出席者	14名 加田純二会長、山本和正副会長、宮崎桜委員、大川妙子委員、 高品千亜喜委員、田中直美委員、大木真由美委員、宮崎好子委員、 潮来芳子委員、嶋田順功委員、八角貴志委員、石毛良美委員、 神山里美委員、浅野祐一委員
欠席者	1名 平野香織委員
事務局	9名 子育て支援課 大川課長、佐原課長補佐、小林主査 学校教育課 小関課長、納家室長 健康づくり課 山田室長、東福寺室長、岡崎主査、 江波戸主任保健師
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・素案の検討 (2) その他 3. 閉会

1. 開会

2. 議事

(1) 第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画について

・素案の検討

(資料)「第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画 素案」

第1章～第2章「2 市内の教育・保育施設等の状況」について、事務局より説明

(質疑応答)

委員 P16、(4) 放課後児童クラブ、「放課後児童クラブの状況」について、「双葉第一放課後児童クラブ」の設置場所が1階、「双葉第二放課後児童クラブ」が2階になりますので訂正をお願いします。

会長 P19、「(7) こども家庭センター すくサポ」について、健康づくり課より補足事項はありますか。

委員 現在は、子育て世代包括支援センターとして、妊娠期から育て期の基本的な健診や相談を実施し、子ども家庭総合支援拠点では、虐待や子育てに困難を抱える方のケースの対応をしております。今後は、名称がこども家庭センターとなりますが、機能としては変わらずに継続しつつ、業務を見直し、より充実したものにしていきたいと考えております。

会長 ほかに質問がないようであれば、P20 からの説明をお願いします。

(資料)「第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画 素案」

第2章「3 アンケート調査結果からみる子育て家庭の現状」～第3章について、事務局より説明

(質疑応答)

委員 銚子市は、10年前に比べ出生数が1／3に減少しております。今後予想される急激な少子化において、保育所をどのように維持していくのかお聞きしたいと思います。

年間120名前後の出生数では、公立、私立の保育所、幼稚園、認定こども園の経営が難しくなると考えられます。これらの対策について、計画にどのように盛り込まれるのか教えてください。

- 事務局 子ども・子育て支援事業計画では、待機児童がゼロとなるよう、保育施設等の定員数の確保に努めておりましたが、現在は出生数の減少が続き、児童数が市全体の定員数を下回る状況となっております。少子化対策につきましては、計画の基本理念である、「銚子で生まれ育ち良かったと思えるような地域で支える『子育てのまちづくり』」に基づき、P33、「3 施策の体系」に掲載した基本施策を展開して少子化対策にあたりたいと考えております。
- また、公立保育所の在り方については、児童減少に伴い、これまで第一保育所、海鹿島保育所を閉所し、第三保育所が今年度をもって閉所する予定となっております。東部地区、中央地区、西部地区と、市全体の施設の配置バランスを考え、公民連携のもと、公立保育所の在り方等を本会議において検討させていただきたいと考えております。
- 委員 P29、3 アンケート調査結果からみる子育て家庭の現状、(2)、「⑭子育てをしやすいまちづくりのために重要だと思うこと」において、「子育てへの経済的支援の充実」と回答した方が51.9%となっており、前回調査より増加しております。他市では、第3子、第4子の保育料を無料としているところもあるため、銚子市も導入することで、経済的に手厚い支援に繋がると思うのですが、今後検討はなされるのでしょうか。
- 事務局 市民の皆様は、近隣市町村との支援の差に関心があると思います。銚子市では、今年度より小中学校の給食費の無償化と、未就学児については、上限を6,500円とする給食費の補助を開始しました。これだけでは不足しているところもあると思いますが、現在、ふるさと納税をしてくださる方が増えているため、こちらを基とした子ども未来基金の積み立てを財源として、皆様のご意見・ご要望を精査し、優先順位をつけて、子育て支援事業に充てていきたいと考えております。
- 委員 保護者の希望もありますので、できるだけ早い対応をお願いします。
- 会長 P30、3 アンケート結果からみる子育て家庭の現状、(2)、⑮から⑰は、中学生に対するアンケート結果になると思いますが、これらはどのような意図があって質問しているのですか。
- 事務局 こども家庭庁より、子どもの意見を聞いて施策に反映するよう示されており、中学2年生に対するアンケートは、今回初めて実施いたしました。今後、事業を進めるなかで、アンケート結果を

基に検討し、施策に反映していきたいと考えております。中学生からは、アンケートに回答することで、自分の気持ちを整理することができたといった意見もあったので、実施して良かったと感じております。

会長 ここに記載のある内容以外にもアンケート結果はあると思いますので、そちらも参考に検討していただきたいと思います。

 P31、（３）子ども・子育て家庭を取り巻く主な課題、「②子育てと仕事の両立に向けた取組の推進」について、第２期計画では、「子育て支援サービス」といった文言が入っていましたが、第３期計画で削除された理由を教えてください。

事務局 子育て支援サービスとしては、ファミリー・サポート・センター事業を令和４年１１月より開始しましたが、PRや周知が不足しているため周知に努め、今後は利用実績を伸ばしていきたいと考えております。また、放課後児童クラブを小学校区に設置し、子どもを預けられるようにするなど、子育てと仕事の両立に向けた支援を実施していることから、「子育て支援サービス」といった文言を削除いたしました。

会長 ファミリー・サポート・センター事業については、第４章以降で示されるのでしょうか。

事務局 はい。

委員 ファミリー・サポート・センター事業のPR不足といったお話がありましたが、実績を教えてください。

事務局 銚子市社会福祉協議会に事業を委託し、令和４年１１月１日より事業を開始しました。

 令和４年度につきましては、利用会員が６２名、提供会員が２８名、利用会員と提供会員の両方に登録している方が１名となっております。利用実績としては、預かりサービスが２件、送迎サービスが０件、預かりと送迎の両方のサービス利用が８件でした。

 令和５年度につきましては、利用会員が８５名、提供会員が３２名、利用会員と提供会員の両方に登録している方が１名となっております。利用実績としては、預かりサービスが１１件、送迎サービスが２６件、預かりと送迎の両方のサービス利用が１７件となっております。

 周知の方法につきましては、広報や市ホームページへの掲載、町内回覧や、市内の保育園、幼稚園、小学校等にチラシを配布しました。また、令和５年８月には、利用会員全員に対し、１時間

の無料チケットを配付し、令和6年2月には会員同士の交流会を実施して利用の促進等に努めております。

会長 少しずつ実績が上がっているようなので、より多くの方に利用していただければと思います。

委員 提供会員になるためには、講習会や研修を指定時間数受けなければならないといった決まりがあり、その時間をとることができずに提供会員になれない方もいらっしゃいます。そのような問題を解決できるような対策は考えていらっしゃいますか。

事務局 事業が始まったばかりということもあり、現時点では、決められた時間数の受講をしていただくことになります。今後省略、合理化できることがないか、先進市町村の内容を参考に検討していきたいと思います。

会長 早急な対応をお願いしたいと思います。

 では、一人一言ずつご意見をいただきたいと思います。

委員 先日、市内の小児科を受診したところ、お腹の風邪といった診断を受けたのですが、低血糖の症状がみられたため検査をお願いしたところ、その小児科では血液検査ができないため、旭市の総合病院に行くように言われました。総合病院で血液検査を受けた結果、低血糖の診断となり点滴を受けたのですが、最初に受診した小児科の診断通りお腹の風邪だと思って処方された薬を服薬していたら、その後どうなっていたのかと思うと不安と恐怖を感じます。市内で小児科を掲げている病院が少ないなか、その小児科で血液検査ができず、市外の別の病院に行く必要があるということに危機感を覚えます。

 また、市内で出産できる病院がなくなってしまったので、今後出産する方は市外の病院に行かなければなりません。そのため、病院の混雑や、兄弟の預け先、通院の時間を考えると、益々出産しにくい環境になっていくと思いました。

事務局 アンケート結果にも、鉾子市に産科や小児科が不足しているといった声が多くありましたので、市の課題として検討していきたいと思います。

委員 少子化が進んだことで、陸上競技大会の種目からリレーがなくなったり、学区内の学校からはやりたい部活がなくなったりと、時代の変化を改めて感じました。

委員 出産時、陣痛が始まってから旭市の総合病院まで行かなくてはならないと考えると、出産を考えていても産めなくなってしまう

と思います。少子化のなか、環境的なリスクが発生することのないよう、問題を解消すべきだと感じました。

委員

先日、就学前健診を受診しましたが、新1年生は3名ということでした。少人数のため、ひとり一人をよく見てもらえる環境だとは思いますが、友人関係を築いていくことを考えると少し寂しい気がします。今後は、小学校の統廃合ということも考えられると思うのですが、子どものためにもあまり環境は変えたくないという思いがあります。

委員

子育て家庭に手厚い経済的支援をすることで、第2子以降も考えられると思うので、他市町村と同様に、手厚い支援を実現してほしいと思います。

委員

先ほど、基本施策があるのご説明いただきましたが、「5 子育てしやすい生活環境の整備」と併せて、妊産婦が安心して出産できる医療体制の充実も大切だと思いました。

経済的支援についてご意見がありましたが、保護者には他市町村が実施している支援について、様々な情報が入ってきております。そのため、生の声を活かして支援に結び付けられると良いと思いました。

委員

放課後児童クラブでは、土曜日に合同保育を実施しております。その中には、別の学校に通っているためタクシーで送迎をされていた家庭がありましたが、現在はファミリー・サポート・センター事業を利用しているようなので、助かっていると思います。

学校の先生方の働き方改革に伴い、中学校の部活動の時間が短くなっていたり、顧問には、学校の先生ではなく外部指導の先生が入るなど、自ら外部の活動に出向かなければ運動をしにくい状況になっているように思います。運動をする機会や場所が減り、子どもの元気がなくなっているように感じます。

委員

子育てと仕事の両立を考えると、病児・病後児保育があると、子どもを産み育てやすい環境になると思いました。

委員

子どもを対象としたイベントを開催しても参加者は減少傾向にあります。また、サッカークラブ等においては、所属する子どもが減り、チームを統合するなど、少子化の影響が医療、教育現場等に直結して現れております。人数減少により規模が縮小しても、質や支援の維持、状況に合ったサポートができる体制を考える必要があると思いました。

- 委員 産科がなくなったことによる出生数の減少も考えられますが、世帯数が減少していることも大きな課題だと思います。働く場所など、子どもを産み育てる若い世代の方が住める環境があるのかを考えるべきだと思います。
- 会長 銚子市で育った子どもが市外に就職してしまうことも多いので、市全体で検討が必要だと思います。
- 委員 少子化が進んでいるものの、子育てに関する課題や問題は増加傾向にあり、相談や悩みの種類も多様化しているように思います。また、世帯の多様化があり、支援の難しさも出てきている状況です。子どもの数は減少しておりますが、様々な課題を抽出し、支援のレベルを落とすことなく、計画策定する必要があると考えております。
- 委員 P35、「(2) 11歳以下の子どもの推計」において、0歳～5歳の令和6年の実績値と令和11年の推計値を比較すると、人口が約2／3まで減少しておりますが、P22、アンケート結果では、「④平日に定期的に利用している教育・保育事業」について、「保育園(所)」が約80%となっております。そのため、保育所等の機能の充実も必要だと思うのですが、公立保育所の統廃合について、市のお考えがあれば聞かせてください。
- 今後、子どものみならず、人口対策が必要になると思うのですが、本計画において人口対策について言及することは可能なのでしょうか。
- 事務局 公立保育所においては、待機児童が発生しないようにある程度の定員の確保をしておりましたが、少子化により民間保育園との公民連携が必要になると考えております。今年度は、公立の第三保育所の閉所を予定しているため、現時点で来年度における統廃合の予定はございませんが、子どもが減少していくようであれば、公立保育所の統廃合等により対策をうたなければならないと認識しております。
- 本計画のみでは少子化対策を網羅できないので、移住、観光等、全庁的に対応し、担当部署ができることを積み重ねることが人口減少を乗り切るために必要だと考えております。
- 委員 本計画を策定するなかで、人口対策について言及することは可能なのですか。
- 事務局 人口対策についての分析は行いますが、回答が見つかっていない状況なので、現段階では謳うことができない状況となっております。

ます。

委員

本計画の基本理念は、「銚子で生まれ育ち良かったと思えるような地域で支える『子育てのまちづくり』」としておりますが、「銚子で生まれ育ち良かったと思えるような地域で支える」の部分には、学校の役割が大きいと感じております。教育長からは、ふるさと教育を大切にするよう示されているため、小学校では、ふるさと教育に取り組んでおりますが、子どもが大人になったときに、銚子市で生まれ育って良かったと思えるような教育をしていきたいと思います。

会長

アンケート結果とともに、委員の生の声も大切だと思いますので、次回もご意見いただければと思います。

ほかに質問がないようであれば、議題（２）その他に移りたいと思います。

（２）その他

（質疑応答なし）

３．閉会